



▼テーマについて出た意見について発表する参加者



4グループに分かれ、テーマごとに本町の現状や課題、今後のまちづくりについて意見交換を行いました。

参加者からは「定期的に町商店街などで子ども連れが楽しめるようなイベントができれば」といった意見が聞かれました。今回出された課題や意見は、意見書として取りまとめ、今後の計画づくりに活かされます。

## 町民の声を政策に活かす

甲佐町まちづくりワークショップを開催

2月19日（水）町生涯学習センターで、甲佐町まちづくりワークショップが開催されました。

次の10年を見据えた本町の総合計画を策定するにあたり、町民からの意見を取り入れるために町が実施。公募による参加希望者に加え、町域おこし協力隊や防災士、保育関係者、商工会関係者、PTA関係者など各分野に携わる方など27人が参加。

全4回のワークショップを通して参加者は「都市づくり」「医療・福祉」「産業・経済・観光」「教育・文化」の

## 馬場選手が九州大会で活躍

九州ジュニアフットサル大会でゴール

2月22日（土）・23日（日）沖縄県で開催された、第5回九州ジュニアフットサル大会に、馬場登久選手（甲佐小学校6年・有安區）が「エスペランサ熊本」のメンバーとして出場しました。

馬場選手は、予選リーグで2得点2アシストの活躍でチームの勝利に貢献。残念ながら予選敗退となりましたが、大会を振り返って「相手選手は大きいだけでなく速さと強さがあって勉強になりました。もっと戦えるよう練習を頑張りたいです」と抱負を語りました。



▲フットサルの九州大会で活躍を見せた馬場選手



◀むし歯についての講話に耳を傾ける参加者

## 学校を越えて連携を深める

令和元年度甲佐町 PTA 連絡協議会研修会

2月21日（金）甲佐小学校で令和元年度甲佐町PTA連絡協議会研修会が開催されました。

同研修会は、町内各小中学校の会員同士の連携を深めることを目的に、甲佐町PTA連絡協議会が毎年実施し、保護者など約130人が参加。今年度、むし歯ゼロをテーマに擁護教員らと協力して行った親子歯磨きなどの取り組みが報告されました。

講話を行った学校歯科医代表の志方圭介さんは「ご家庭でお子さんの歯磨きがきちんとできているかチェック磨きをお願いします。むし歯かなと思ったら早めに歯科医院を受診しましょう」と呼び掛けました。

## 総合運動公園の愛称が決定

緑川リバーサイドパーク「Kパークこうさ」

2月21日（金）安津橋一帯の緑川河川敷に整備が進む「熊本甲佐総合運動公園『緑川リバーサイドパーク』」の愛称が「Kパークこうさ」に決定しました。

一般公募により全国から寄せられた170点を超える応募の中から選定委員会での選考を経て、幅広い皆さんに親しまれる愛称を選定。たくさんのご応募ありがとうございました。

町の新たな“スポーツ・健康”と“交流”の拠点となる運動公園は、令和5年の完成を目指して整備が進められています。



▲安津橋一帯に整備が進む総合運動公園の完成イメージ



◀開校式で活動の思い出を発表する子どもたち

## 地域社会で育てる子どもたち

まつやま塾閉講式

2月26日（水）乙女高齢者福祉センターで、令和元年度放課後子ども教室「まつやま塾」の閉講式が開催されました。

同塾は放課後に地域住民の参加協力を得て地域社会で子どもたちを育むことを目的に、町教育委員会が平成20年から主催。今年度は毎週水・金曜日を中心に、そら豆の収穫や木工づくり、田んぼの観察など全38回の活動を実施しました。

参加した子どもたちは、「まつやま塾で、はじめて稲刈り体験したことが思い出です。みんな協力して収穫できて楽しかったです」とこの1年を振り返って感想を発表しました。

## 学び舎での思い出を胸に迎えた旅立ちの日

甲佐中学校卒業証書授与式



▲在校生や来賓の参加が見送られた卒業式で服部校長から1人ひとり卒業証書を受け取る卒業生

3月14日（金）甲佐中学校で令和元年度卒業証書授与式が行われ、卒業生76人が恩師や仲間との別れを惜しみました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、同校（服部起明校長238人）の在校生や来賓の参加が見送られるなど規模を縮小。保護者や恩師らが見守る中、壇上に上がった卒業生1人ひとりに服部校長から卒業証書が手渡されました。

卒業生に向けて服部校長は「これからたくさんの悩みと不安に出会いますが、逃げずに真っ向から挑戦してください。困ったときは中学校の先生たちに相談に来てください」とあいさつ。

生徒を代表して小柳花凛さん（横田区）と薬師莉央奈さん（上田口区）が「ぎりぎりまで友達と話した休み時間やみんなで食べた給食、睡魔と闘いながら受けた午後の授業など何気ない1日1日が最高の思い出です。みんなと過ごした3年間は一生涯忘れません。世の中が大変な時期に私たちのために卒業式を開催していただきありがとうございました」と答辞を述べました。